



歴史博物館 昔あそび

・毎月第2土曜日 紋切りあそび 折り紙の金魚つり

型紙に折り紙をあてて切り抜くと、素敵な紋様が
できあがります。季節限定の紋様も登場します。
折り紙の金魚つりあそびもやっています。金魚以
外の魚も…？



・毎月第3土曜日 火打ち石体験

火打ち石と火打ち金を使った
火おこし体験です！
ろうそくに火をつけられるかな？

・毎月第4土曜日 紋切りあそび

紋切りあそびの他に、お手玉あそびも
やっています。お手玉のいろいろな
技を磨いてみよう！

紙芝居劇場以外の昔のあそび体験については下記の場所と時間で実施いたします。

場 所：当日 館内の案内からご確認ください。

時 間：13:00～15:00

「発見・体験 昔のくらし」 関連行事

・毎月第1土曜日 歴史博物館 紙芝居劇場

昔懐かしい自転車紙芝居です！いろいろな
紙芝居を見ることができます。1日2回。
公演終了後にはカタヌキのおまけもあります。
毎月違う演目です！どんな演目か、見てからのお楽しみ♪

毎月第1土曜日に開催している「紙芝居劇場」が、期間限定
で歴博2階特別展示室に出張！同室で開催中の「発見・体
験 昔のくらし」とセットでぜひご覧ください。

場 所：歴史博物館 2階 特別展示室

時 間：①13:30～ ②14:30～（各回30分程度）

日 時：11月4日(土) 12月2日(土) 1月6日(土) 2月3日(土)

※都合により予告なく内容が変更・中止になる場合がございます。予めご了承ください。

ご利用案内

【時間】 9:00～16:30

【休館日】 月曜日(祝日の場合は翌日)

【入館】 無料、補助犬同伴可
車いす各館1台あり

【駐車場】 一般車30台

お体の不自由な方等
の車両 各館1台あり
大型バスの利用不可

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、博物館および駐車場の
利用時間が変更となる可能性があります。あらかじめご了承ください。



考古・歴史博物館だより

第68号

発行 令和5年10月

学校連携学習資料展 「発見・体験 昔のくらし」

歴史博物館で毎年開催している子ども
から大人まで楽しめる学校連携学習
資料展「発見・体験 昔のくらし」が一
部リニューアルしました。

衣・食・住のテーマに分けて、生活に使われ
てきた道具の変遷を見ていきます。主な展示
品として、蚊帳や洗濯板など、電化製品が普及
する前の道具をはじめ、絞り機付きの洗濯機や
黒電話…。多くの家庭で使われた生活道具が
並びます。

その他にも、市内各所や小学校の古写真、
昭和40年から50年代の居間の再現展示もあり
ます。また、展示室内では、めんこやお手玉な
ど昔の遊びの体験もできます。

当時の人々の暮らしに触れることで、懐かしさ
や新たな発見があるかもしれません。この機会
にぜひご来館ください。

期 間：令和5年

11月3日(金)～2月4日(日)

※12月28日(木)～1月4日(木)は
休館日となりますのでご了承ください。

場 所：歴史博物館 2階特別展示室

市川考古博物館

〒272-0837

市川市堀之内2-26-1

☎ 047-373-2202

市川歴史博物館

〒272-0837

市川市堀之内2-27-1

☎ 047-373-6351

年末年始休館日
のお知らせ

12月28日(木)
～1月4日(木)

上記の期間は、休館日と
させていただきます。



【当館利用者の皆様へのお願い】

- ・体調のすぐれない方の来館はご遠慮ください。
- ・見学の際、展示ケース等の館内の物には触れないようにお願いします。

いちかわの縄文貝塚(5) 縄文時代の装身具(その1)

縄文人たちは、身体の一部である髪・耳・首・胸・腕・腰・足などに装身具(アクセサリ)を着けることがあり、その部位は興味深いことに現代人と大差がなく、身体の一部が衣服から露出する部分に集中する。このことは、数千年の時が流れ、装身具を身に着ける社会的な意味合いが変わっても、肌の露出する部分に装身具を身に着けるとい、「おしゃれ」の基本は変わらなかったことを示している。

市川市内の縄文貝塚からも、これまでの発掘で数多くの装身具が出土している。よく見かける装身具には、髪飾り、耳飾り、首飾り、胸飾り、腕飾りなどがあるが、それらの材質は実に多様である。時期によって、材質が異なることもあれば、同時期に異なる材質で作られることもある。

髪飾りは、動物の骨や角でできたものが多い。1本で髪に刺すヘアピン(①)が主体を占めており、柏井町1丁目の姥山貝塚や曾谷2丁目の曾谷貝塚などから出土している。それ以外では、櫛歯を束ねて表面に赤や黒の漆を塗った髪飾り(漆器②)があり、外かん自動車道の建設工事の事前調査にともなって、堀之内2丁目の道免き谷津遺跡や須和田1丁目の後通遺跡から出土している。漆器の起源は、驚くべきことに縄文時代にまで遡るのだ。

耳飾りは、粘土を焼いて作った土製、石を加工して作った石製、サメの背骨で作った骨製、木を削って漆を塗ったものなどがある。時期別にみると、前期後半から中期初頭(約5,500年～4,800年前)にはアルフェベットのCの字の形をした玦状耳飾りが作られ、土製と石製の耳飾りが併存する時期もある。透かしの入った土製の滑車形の耳飾りや木を削って漆を塗った耳飾りは、堀之内2丁目の堀之内貝塚や道免き谷津遺跡から出土しており、縄文時代の終わりに近い晩期(約3,000～2,500年前)に見られる。滑車形の耳飾り(③)は、鮮やかな赤色顔料が塗られることもあるが、とにかく大きさに驚かされる。時間をかけて耳たぶに孔をあけ、直径3～8センチにもなる耳飾りを装着するのであるから、手間がかかることは言うまでもない。

首飾りや胸飾りには、オオヤマネコ・オオカミ・タヌキ・イノ

シシ・バンドウイルカなどの歯牙でできたもの、ツノガイ(④)やイモガイの貝殻でできたもの、石を加工して作ったもの、粘土を焼いて作ったものなどがある。近年、船橋市の取掛西貝塚から縄文時代早期(約8500年前)のツノガイ製の首飾りが多量に発掘されたが、材料のツノガイが化石であった可能性が指摘されている。また、堀之内貝塚からは、新潟県の糸魚川周辺から産出する翡翠(ヒスイ)を材質とする大珠(ペンダント)が出土しており、縄文時代の広域ネットワークの一端を知ることができる。(つづく)

(考古博物館学芸員 領塚 正浩)



図1 装身具をつけた縄文女性

市川の民具 番外編 「発見・体験 昔の暮らし」の居間 ー変化する暮らしの一幕ー

秋から冬にかけて、市川歴史博物館では毎年「発見・体験 昔の暮らし」という学習資料展示を開催しています。この展示は小学3年生の学習に合わせたもので、毎年多くの小学校が来館し、学習の機会として活用していただいています。一般来館者にも好評で、やはり「生活」に関する資料は世代を問わず様々な方が興味を持っているのだと実感いたします。

さて、当展示では2年前から展示室入口近くに「昭和40～50年代の夫婦の暮らし」というテーマで居間の様子の再現展示をつくりました(写真①)。今年度で3回目の登場で、おおよその設定は以下の通りです。

市川市で夫婦二人暮らし、旦那さんは製パン会社勤務、奥さんは専業主婦、奥さんは裁縫が得意、旦那さんは胃腸が弱い、季節は夏……

これらを簡単に記したパネルも用意し、この展示をより身近に感じてもらえるような工夫をしています(写真2)。展示中央にあるちゃぶ台には二人分の食器を配置し、「裁縫が得

意」に対応するものとして裁縫箱を、「胃腸が弱い」にはちゃぶ台付近に「赤玉はら薬」の袋を置くなど、展示資料もこれら設定に合わせました。また、夏ということで再現展示のすぐ隣には蚊帳も吊るしてあります。

この夫婦は今年で3回目の登場になりますが、担当学芸員の遊び心で、毎年同じように展示しているわけではありません。実はちゃんと二人の時間も1年ずつ進んでいるのです。今年はこの家にどのような変化があるのか、よく観察してみてください(もちろん初めて見ても楽しめます)。

学校連携学習資料展「発見・体験 昔の暮らし」は11月3日(金・祝)から開催です。ぜひこの二人にも注目してください。

ちなみにこの夫婦は左記の設定しか決めていないため、それぞれの名前はおろか苗字すらまだありません。何かよいお名前が浮かびましたら担当学芸員までお知らせください。

(歴史博物館学芸員 福島 千尋)



【写真1】2021年度の再現展示の様子(食事は折紙で作成)

今とくらべてみよう！

昭和40～50年代（1965～1975）ごろの夫婦の暮らし

私たちは昨年^{わだし}に結婚^{きくこん}して、市川^{いちかわ}市に2人^{ふたり}で住んでいます。旦那^{だんな}さんは製パン^{せいぱん}会社^{かいしや}にお勤^{きん}めし^めていて、私は専業主婦^{せんしやうしゆふ}です。

お裁縫^{さいほう}が得意^{とくい}なの～！

今日の夕飯^{きゆうふく}には、ごはん・おみそ汁^{みそじゆ}・肉じゃが^{にくじゃが}・焼きジャケ^{やきじゃけ}・お漬物^{つづもの}を用意^{ようい}しているわ。今日はとても嬉しいことがあったから、ごちそう！

おかずをたくさん用意^{ようい}したのよ！

でも旦那^{だんな}さんはお腹^{はら}が弱い^{よわい}ので、置き薬^{おきぐすり}から『はら薬』^{はらぐすり}を出^でしておかなきゃ！

今は夏^{なつ}だから、さっき踏み台^{ふみだい}を使って蚊帳^{かやう}を取り付けたの。蚊に刺^さされないように蚊遣^{かやう}り豚毛^{ぶたけ}も出^でしましょう。

この2人^{ふたり}のお部屋^{へや}には、他にもいろいろなものがあります。現代^{けんだい}のみなさんが使^{つか}っている生活^{せいかつ}の道具^{どうぐ}と比べながら、よく観察^{かんさつ}してみよう！

※展示品^{てんじひん}はさわらないでね！

【写真2】2022年度の夫婦の紹介パネル